

# 放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。  
「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾うらゆち新市

公表日 2026年 1月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・室内だと空間に限られる為、公園や体育館での活動を企画し室内では難しい活動を行っている。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	・他事業所からヘルプの職員を呼んで対応したり、計画を立てて配置を変えたりするなど工夫している。	少人数でもより適切な支援が提供できるよう、職員一人ひとりがスキルアップできる体制づくりに努めていきたい。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・段差が多くバリアフリーには適していないが、段差で蹴いたり物を運べない児童にはその都度職員が介助を行っている。	学習室は扉がなく周囲の雑音が入りやすいことや、室内に死角が多い点がありますが、今後は環境整備や配置の工夫により、より集中しやすく安全な空間づくりを進めていきたい。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・毎日感染症予防の為、換気や次亜塩素酸ナトリウムでの清掃を行っている。	学習ルームで使用する机や椅子を適切に整え、快適に学習できる環境づくりを進めていきたい。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	・個別の部屋の確保が難しい為、状況や特性に合わせて空間を設けられるよう職員間で連携している。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・業務内容を定めた期間ごとにローテーションして業務の効率化と目標達成時期を明確化し振り返りを行っている。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・毎年12月頃に保護者評価をお願いしており、改善内容を職員間で話し合い業務へ取り入れる工夫をしている。		
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・朝礼の際に業務の進捗や申し送り等を伝える場を用意している。 ・毎月カンファレンス会議があり、その際に支援についての意見交換を行っている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		数年に一度、市の職員が運営指導の監査に来る機会がありますが、今後は定期的な確認や改善の機会を設けられるよう検討していきたい。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・月1回程度の全体研修やエリア研修等、多くの研修に参加する機会がある。 ・研修に参加していない職員にも後日研修資料を渡して情報共有を行っている。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・今年1月に作成し、公表している。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・児童発達支援管理責任者が中心となりカンファレンス会議を企画し、職員間で情報共有や意見交換を行い案を作成している。 ・モニタリングの際にいただいた保護者様のご意見も職員間で共有し、考慮した上で個別支援計画を作成している。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・保護者様とお話をする前に職員間で情報共有と意見交換を行っている。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・完成した個別支援計画の内容は、カンファレンス会議の際にも共有している。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・利用した際には、支援記録などを用いて利用者様の様子を細かく記録し、職員間でも見返されるように工夫している。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・ガイドラインに基づきながらも保護者様や利用者様の意向に沿った支援内容を設定している。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・毎月行事企画会議を行い、職員全員で活動内容を考えている。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	2	・放課後の活動時間は利用者の意見を尊重していますが、活動が偏らないよう、行事企画会議で活動を計画し、利用者の意見と職員が事前に決めた活動が固定化しないよう工夫している。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・集団活動が苦手な利用者へは、レクリエーションの手伝いや個別での活動を提案し、徐々に集団活動ができるように促している。	日々の支援の中で常に実施できているわけではないかもしれませんが、今後はより継続して取り組めるよう努めていきたい。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼の際に、その日のレクリエーションの進行やマンツーマン対応児の確認を行っている。		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	4	2	・送迎終了後に管理者や児童発達支援管理責任者に報告し、翌日に職員全体で共有している。		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・当日中、または次の営業日に確実に記録を行っている。 ・トラブル発生時には、迅速に対応し状況を確認している。		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・誕生日と誕生日から半年の時点でモニタリングを行い見直ししている。 ・新規の利用児は3か月頃で見直しを行っている。		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6	0	レクリエーションを通してルールや社会参画の機会を作り、長期休みは土曜日等は地域のイベントや施設へ赴く活動もしている。		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	6	0	・日々のお菓子は自ら選んで購入する形のため、欲しいお菓子や持っているお金を配慮して自己選択ができるように支援している。 ・放課後利用の際は活動を自ら提案、決定する場を設けている。		
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・該当児の様子などを把握している管理者や児童発達支援管理責任者などが同席して参画している。		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・送迎時に利用者の学校の担任から普段の様子や持病の経過について情報共有を行っている。 ・定期的に担当者会議を開き、学校関係者と連携を行っている。		

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・サービス提供前に下校表を職員間で確認し、情報共有を行っている。 ・保護者様から学校行事に関しての連絡や下校時間に関する変更などの連絡があった際には即座に職員間で共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・児童発達支援事業所と利用者が利用する前に情報共有を行い、職員間でも共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	・弊社の事業で設立された自立訓練・就労移行支援の多機能型事業所への案内などを保護者様へ行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		児童発達支援センターとの連携は現状取れていませんが、今後は連携できる機会を作っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこともと活動する機会があるか。	4	2	・定期的に他事業所と合同で行われているバス教室に参加しており、交流を深めている。	放課後児童クラブや児童館とは話し合いの場を設ける機会がなく、連携がとりにくい状況ですが、今後は、情報共有や協働が図れるよう努めていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	・府中市で定期的に行われている放デイ協議会へ参加し、情報共有などを行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・連絡帳やコードモンを使い、日頃から保護者様と情報共有を行っている。 ・利用者様の発達状況や課題については、保護者様と話し合う場を設け、家族支援なども行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・家族への支援が必要な事例では、併用している他事業所や学校関係者とも連携し、話し合いの場を設けて会議を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・実施した支援プログラムにおいては、連絡帳やコードモンなどで詳細に説明を加えて、お伝えしている。	
	保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・保護者様から支援内容についてのご依頼があった際には、最大限配慮しながら接している。
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・管理者や児童発達支援管理責任者などが説明を適宜行っている。	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・保護者様から要望があった際には、面談を行う場を設けて家族支援などを行っている。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	0	・不定期ではあるが、保護者会を開催し利用者様の悩みについて相談したり、保護者同士で情報交換を行う交流の場を設けている。	
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・苦情があった際には、即時職員と情報共有を行い、対応している。	
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・毎月、夢通信や夢だよりなどを通して、行事内容や準備物などの発信を行っている。 ・コードモンを活用して、他事業所の発達支援相談会などの案内もしている。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・利用者様の個人情報が記載されたカルテや名札などは、利用者様の目が届かないよう鍵のついたロッカーへ保管している。 ・サービス提供後は、個人情報が分かる媒体がロッカーから出ていないか確認し、施錠もしている。	
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・お便りや連絡帳、コードモンで発信する際には難しい言葉を使わず、簡潔で分かりやすい説明で表現するように工夫している。	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		ゆゆう祭りなど会社全体での取り組みはありますが、今後は夢門塾としても地域との関わりを積極的に持てるよう努めていきたい。
非常時等の対応		46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・それぞれのマニュアルに関しては事業所全体を通しての共有がなされており、実際に訓練を実施してマニュアルごとのファイルへ綴じている。 ・年に2回、避難訓練と防災訓練を実施しており、消防署へ計画書の届け出をしている。 ・実際に訓練を行った様子なども写真に収めて記録し、職員間で共有できるように工夫がなされている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・事業所内に非常時の避難経路をイラストで表現したものを掲示し、利用者様にも分かりやすいように工夫している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・服薬が必要な利用者様が来所される際には、職員間で情報共有を行い、服薬後の確認も行っている。 ・保護者様から利用者様の服薬や疾病について連絡があった場合は、早急に職員へ情報共有を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	・利用者様の契約時に「食生活類書」へ食物アレルギーを記入していただき、該当児がクッキングなどに参加する際には職員間で確認し、情報共有を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・安全対策が不十分な部分を発見した際には、職員間で話し合う場を設けており、ケガや事故を未然に防ぐ対応を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	・利用者様のトラブルやケガの発生については、連絡帳やコードモン、または保護者様への直接連絡を通して情報共有を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	・ヒヤリハットが発生した後は、記憶として残し、職員間で共有できるように工夫している。	ヒヤリハットの共有件数はまだ少ないものの、今後は日常的に職員間で情報を共有し、再発防止策を検討・実践できる体制を整えていきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・外部の講師を呼んで会社全体での虐待防止研修を定期的に行っている。 ・研修資料は事業所内の職員へ共有し、研修内容の把握を徹底している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・虐待防止委員会を設置し、身体拘束の在り方について組織的に方針を決めている。 ・虐待防止委員会では、従業員へ向けた身体拘束の有無に関するアンケート調査を定期的に行っており、結果の内容をもとに身体拘束に関する研修を行っている。	
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<p>・保護者様評価では、利用者様への支援内容に対して高い評価を頂いていることが分かりました。一方で、職員間での情報共有が足りないという事や家族交流会などの機会が少ないといったご意見もありました。今後は職員間で情報共有を行い、密な連携を取りながらトラブルや事故防止に努めてまいります。また、保護者様同士でお悩みを相談し合える機会を作り、保護者様にとって安心できるような場所を目指してまいります。</p> <p>・自己評価では地域交流の場、または各種機関との連携が少ないという意見がありました。今後は地域のイベントなどに積極的に参加することで地域の方との交流の場を増やしたり、幼稚園や病院、発達支援センターと連携する機会を作ったりしてより充実したサービスを提供していけるよう努めてまいります。</p>						